



一歩前進

第1号
4月24日発行
文責:林

重点目標:自分も人も大切に考動(こうどう)する笑顔いっぱい湯浦っ子
育てたい資質・能力:共感力(やさしく) 探究力(かしこく) 協働力(たくましく)

今年度、歴史と伝統ある湯浦小学校の校長を拝命しました、林 浩也(はやし こうや)と申します。昨年度まで3年間、八代市立郡築小学校で校長を務めてまいりました。芦北町立の小学校4度目の勤務となります。教諭時代には佐敷小で、教頭時代には、内野小・佐敷小でお世話になりました。現在、自宅のある津奈木町から自家用車で通っています。「どうぞよろしくお願いいたします」

郷土愛溢れる湯浦の地で、学校経営を担うことに、大きなやりがいを感じるとともに、責任の重さに身の引き締まる思いです。湯浦小の校訓である徳:敬愛「やさしく」、知:自律「かしこく」、体:根性「たくましく」を子供の姿として保護者及び地域の皆様の前で表現できるように、力をつけさせたいと考えています。

前任の森校長先生を中心に、大切に育ててこられた「夢に向かって主体的に学び(知)人を大切にする豊かな心(徳)とたくましい心身(体)をもった児童の育成」を基盤とし、令和6年12月に設定されました「くまもと新時代教育大綱」の理念である「自らの可能性を拡げ、未来を切り拓く 熊本の人づくり」と、芦北町教育立町の理念である「古きを学び知り、生きる力を培い、新しさを創る」につながる目標としました。

さらに一歩前進していくことを目指し、学校教育目標と今年度重点努力目標を次のように決めました。

学校教育目標：郷土を愛し、互いに支え合い、高め合い、未来を創る児童の育成

予測困難な事象が毎年のように起こっている現代と将来を子供たちにたくましく生き抜き、よりよい未来を創ってほしいという願いをこめています。目標を達成するには、子供たちが郷土(地域)の人たちと関わり、そのよさを感じるとともに、友達と支え合い、よりよく高め合う意識を醸成していく必要があります。そのような教育活動が実現できるように、職員一同、力を尽くして参る所存です。

今年度重点目標：自分も人も大切に考動(こうどう)する笑顔いっぱい湯浦っ子

学校教育目標達成に向け、今年度、子供たちに日々意識させたい言葉を「重点目標」として考えました。子供一人一人が夢をもち、それを実現させるために、まず自分を大切にする必要があります。始業式でも話しましたが、「樂をする」という意味ではありません。自らを伸ばすことや成長させることを大事にしたいのです。と同時に、世界でたった一つの命である自分の存在を大事にしてほしいのです。

また、人(友達や家族、地域の人等)を大切にする必要もあります。小学校の6年間で大きく伸ばす必要のある力です。人の思いを受け止めようとする心を育てることで、誰もが安心して登校できるようになります。それは、だれもが安心して暮らせる社会づくりにつながります。言い換えれば、人権尊重の心を育てるということです。

このようなことが実現できるよう、自ら考えて動き[考動し]、笑顔がいっぱいあふれる湯浦小学校を創ることに全職員で一丸となって取り組む所存です。ご協力をよろしくお願いいたします。

早速、子供たちが自ら考えて動く[考動]することで、一歩前進する姿が見られています。少し紹介します。

元気な18名の新生が入学しました

4月9日(水)桜満開の中、入学式を挙行することができました。氏名点呼では、一人一人がしっかりと声で返事をするのができ、感心しました。また、式の後には、来賓の皆様から「感動的なよい入学式でした」という感想をいただきました。式を支えてくれた在校生(4年生~6年生)の姿にも感動しました。式後の片付けにおいても、自分で仕事をみつけて頑張る姿がここぞで見られ、新年度に向けた子供のやる気を強く感じました。



一步前進する湯浦っ子

新年度がスタートして3週間程度ですが、「一步前進」する姿がたくさん見られています。詳しくは、学校のHP（ホームページ）をご覧ください。また、行事予定も併せてご確認ください。

一步前進



★やる気溢れるリーダースタッフ

新年度となり、リーダースタッフの「湯浦小学校をよりよくしていきたい」という思いから、伝統のスローガンである「ゆのうら運動」をリニューアルする案を提案してくれました。

5月に全校に提示し、取組を進める予定です。

★委員長としての気概を感じた児童集会

新年度委員会活動の活動宣言を各委員長が行いました。大きな声で、かなりの長文をしっかり覚えて発表することができました。発表後に、その頑張りを賞賛しました。



★1年生も、日々前進しています

「給食」「掃除」「音楽」「体育」「靴ならべ」など、友だちと協力したり、共に楽しんだり、競い合ったり、心を揃えるよさを味わったりと、日々たくさんの経験をしています。これからの成長がとても楽しみです。

「共育（きょういく）」の視点にそって子供を健やかに育ててまいりましょう

4月に赴任して間もなく臨んだ湯浦小 PTA の会議、沢山の資料を全員で確認しながら、令和7年度の PTA 活動について、活発且つ明るい議論が展開されました。私が挨拶で話した「共育」（学校と保護者・地域が手を取り合い、共に子供たちを育てること）について、共感していただき、「がんばりましょう」という意見が聞かれ、就任当初からとても心強く感じました。

令和7年度 湯浦小学校のスタッフ紹介



後段左から

- ・石田校務員、岡村養護教諭
- ・新立事務職員、平生支援員、鎌本業務支援員
- ・浅野支援員、福嶋支援員

中段左から

- ・草野教諭、上村教諭、本島教諭
- ・今嶋教諭、島田教諭

前段左から

- ・中村教諭、木下教諭、甲斐教諭
- ・林校長、塩根教頭、城山教諭、古閑教諭